





審査結果報告書

2021 年 1 月 21 日

主査	氏名	井上 優介	
副査	氏名	西山 和利	
副査	氏名	青山 直善	
副査	氏名	半田 知也	

1. 申請者氏名 : 岩佐 真弓

2. 論文テーマ : Clinical Features of Crowded Orbital Syndrome on
Magnetic Resonance Imaging
(眼窩窮屈症候群の MRI における臨床的特徴)

3. 論文審査結果 :

申請された論文は、眼窩窮屈症候群（以下、COS）の特徴を MRI を用いて検討したものである。遠見での複視を主訴とし、強度近視で眼球運動障害のない内斜視または上下斜視症例である COS 群 60 例の MRI 所見を、複視や眼球運動障害のない高度近視群（HM 群）26 例および強度近視のない群（NC 群）20 例と比較した。COS 群では MRI で測定した脱臼角が大きく、眼位異常との関連が示唆された。また、COS 群では総睫輪から眼球までの距離が大きく、眼球の眼窩内部分の長さが長かった。強度近視の中でも開散不全型内斜視や上下斜視がある例では、斜視がない例と比較して、眼窩内にある眼球の体積が大きいことが示唆された。日本人は眼窩容積が比較的小さく、近視の頻度が高いことを踏まえ、後天性の内斜視や上下斜視では MRI で眼窩と眼球の容積の不均衡の有無や外眼筋の走行を検討することが重要と考えられた。

本研究は眼窩窮屈症候群の特徴を明らかにする価値ある研究であり、診療方針決定に重要な示唆を与えるものである。プレゼンテーションおよび質問に対する回答も適切であった。よって本研究は学位論文としてふさわしいと判定された。